

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年6月25日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

生活保護の引き下げやめて！「何を削ればいいの？」

第2弾・生活保護不服審査請求 口頭意見陳述

6月19日、今年4月に行われた2回目の生活扶助費の見直し（事実上の引き下げ）に対する不服審査請求の口頭意見陳述が行われました。

道内では、1159人が不服審査請求を行いました。会場には陳述人を含め110人が傍聴しました。23人が代表して、深刻な生活実態や「これ以上何を削ればいいのか」など引き下げ中止を求めて陳述しました（北海道社保協の代表も代理人として陳述しました）。

口頭意見陳述後には、報告集会（写真）が行われ、陳述した人たちは、「自分はひとりではない。団結が力になる」などの感想が述べられ、道生連の三浦会長は、年内に引き下げの取り消しを求める行政訴訟を行うことを明らかにしました。

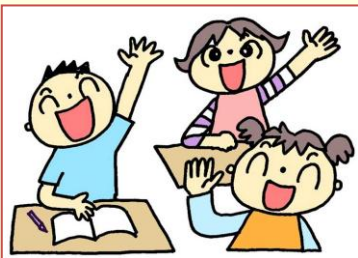


生活保護基準の引き下げに連動し 450人以上が受けられなくなる！

釧路 就学援助の基準を引き上げと充実も求める会が 署名開始

生活保護基準の引き下げに連動して、就学援助の認定基準が下がり、利用できない子が増える可能性があります。国は、自治体に影響を与えないように働きかけていますが、財政支援はほとんどありません。

釧路市では、就学援助の認定基準は、生活保護基準の1.2倍未満で、現在3209人の児童・生徒が利用しています。生活保護基準の引き下げに連動すると、2015年度からは、推計で237人、2016年度から311世帯469人（約15%）が利用できなくなります。



そのため、新婦人などが呼びかけて、6月10日、「就学援助の基準引き上げと充実を求める会」を結成しました（新婦人、生活と健康を守る会、社保協、全教、民商、釧路連、個人で結成）。会では、就学援助を継続して利用できるように、認定基準を1.3倍に引き上げることや「クラブ費」「生徒会費」「PTA会費」も支給対象に拡大させるため、チラシも作り署名を始めました。9月までに5000筆の署名をめざしています。

各市町村でも、自治体への働きかけを強めましょう。

生活保護制度を良くする会で署名に取り組む 7月の支給日宣伝を

「生活保護制度を良くする会」は、生活保護基準の引き下げの中止を求める署名にも取り組んでいます。

6月の支給日宣伝行動では、5月29日、札幌市西区琴似ダイエースーパー前でも行われました（写真）。「社会保障が悪くなって困るから署名します」「家族の分もいいの？」と生活保護利用者をはじめ市民が署名し、好反応でした（35筆）。

各地で7月の支給日宣伝も取り組みましょう。



7月の支給日宣伝行動（予定しているところ）

7/1	厚別区（10時～）	サンピアザ前	白石区（9時30分～）	区役所前
	清田区（10時30分～）	西友清田店前	北区（8時45分～）	区役所前
7/3	小樽市（9時～）	小樽駅前		